



条幅規定

準師範 亀井 桂茜

羊毛を駆使し、リズムに乗って明るく、確かな技量を感じる作品である。「化」にや、堅さがあるのが残念。若いうちに多種の古典を習得し、表現の多様化にチャレンジしてほしい。

条幅随意

師範 龍 由香里

大字をや、右に流しながら、細字を組み合わせた意欲的な作。師範ともなれば、参考手本に捕らわれずにこのようないろいろな表現のチャレンジをしてほしい。「人生は挑戦」である。

条幅随意(臨書)

師範 矢野 純子

長鋒筆を駆使しながらも、細部にわたる観察力と集中力、無理のない自然な流れ、墨色と紙の選択、すべてがマツチし、双鉤填墨に命を与えた作品である。古典への気概も感じる。



半紙規定

師範岡 由香里

墨をたっぷり置き、厚感のある線で、結体よく、存在感のある作品である。や、余白不足が残念であるが、若さを感じさせる佳作である。



半紙随意

師範藤永 璃永

真摯な習作態度で個々の字形や線の変化が充分に表現され、余白の美しい清涼感に富んだ作品です。この調子で「師範正」への挑戦を。



半紙随意(臨書)

準五段 牟田 悦子

や、荒さはあるも、臨書に対する気概を感じる作品である。「書は人なり」多種の古典を習得し、牟田ワールドに期待する。



半折1/2縦

準五段 田中 禮子

参考手本に捕われずに自己の挑戦する姿勢に賛同する。芸術は構築と破壊の繰返し、師に近付き、そして否定する。その中から自己の芸術が深まっていく。これからの楽しみである。



学生部条幅 (1/4)

中二 特待生 和田 千穂

漢字と平仮名のバランスが良く、伸びやかな線で明るく書けています。名前をもう少し大きく書くことさらに良くなります。

伊良子修司

小一 5級

おもいきりのよいせんで、かみいっぱいにげんきよくかけましたね。このようにしてこれからがんばってください。

岩尾 樹希

小二 準3級

たつきくんの元気が紙からあふれそうです。おしゅうじのたのしさが伝わってきます。さらにきたいしています。

小柳 文乃

小三 二段

どつしりとしたりっぱな「馬」ですね。文字の形が良く、文字のついで、名前までしっかりと練習のできた作品です。

古賀 璃音

小三 準二段

気のこもった力強い線で、どうどうと書けています。体全体を使って楽しく練習しているようすが目にうかぶようです。

悠間 史歩

小四 四段

しっかりとした筆づかいで、名前まで完成度の高い作品です。四年生とは思えないほど見事な作品です。今後さらに期待大！

古賀 遥奈

小四 三段

明るくすっきりとした線で形良く、ていねいに書けています。力強さが加わるとさらに良くなります。がんばって下さい。

永田 湧輝

小五 準二段

基本の筆づかいがしっかりとできた完成度の高い見事な作品です。日頃から名前まで練習ができている成果だと思えます。

篠原 遥海

小六 準六段

温か味のある線で丁寧な書きかけをしています。今後は腕を大きく動かして伸びやかな線を心がけるとさらに良くなります。期待大。

石飛 響

中一 準六段

難しい課題でしたが、線の強弱を取り入れ、形良く、明るく書けています。「特待生」を目指してこれから頑張ってください。

糸園 千紘

中二・三 特待生

伸びやかな線で明るく大らかに書けています。勉強や部活との両立の中、見事な集中力です。「継続は力なり」ですね。

硬筆部最優秀作品

(11月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

バスや、じょう
う車は、人をの
せては、ごぶしご
とを、しています。
いえむらまお

大豆にふくまれる大切
なえいようだけを取り
出してちがう食品にす
るくふうもあります。
登川千鯉子

どうしたら、古代の人々に負け
ないものをつくれるのか。一流
の職人たちが日本じゅうから
総動員された。建物をつくる宮
大工。かわらを作るかわら職人。
大石智花

夜遅く、出窓で見張っていた弟が、
帰ってきたよと叫んだ。茶の間に
座っていた父は、はだして表へ飛び
出した。防火用水おけの前で、やせ
た妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。
峰 彩陽

図書かんの本は、
分け方やならべ方
をくふうして、お
いてあります。
しん ゆうき、

試合終りよう直後のシー
ンを見てみましょう。選手
とおうえんした人たちが、
勝利を喜び合っています。
山口 茉優

気持ちが悪く着くと、少し勇気
が出てきました。ぼくはクマの道
をたどり、森に入ってゆくことに
決めました。この森は、はるかな北
に広がる氷河まで続いています。
百留実和

前略部長昇進おめでとうございませう。
と、いとおけいも、断りきれず、退席気
味とか、無様も心配して、おられす。
メキシコ五輪で銀メダルに輝いた若原健二
さんは、自著に人生はマラソンよりも短かに
似ていると書いて、おられた。仕事柄、大人より
タスキを責任持て、次の世代に渡すこと、は
大変だと思われませうが、どうも信念を持って
頑張ってください。
草

大豆にふくまれる大切
なえいようだけを取り
出してちがう食品にす
るくふうもあります。
安松春香

試合終りよう直後のシー
ンを見てみましょう。選手
とおうえんした人たちが、
勝利を喜び合っています。
水崎晃輝

夜遅く、出窓で見張っていた弟が、
帰ってきたよと叫んだ。茶の間に
座っていた父は、はだして表へ飛び
出した。防火用水おけの前で、やせ
た妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。
中島羽七乃

言葉の不思議さは、しばしば筆者の
意図を超えてひとりでに動き出し、新
しいメッセージを生み出す。このよう
な事に関する言葉からも読書からも、
新鮮な感銘を受けることが多かった。
大石 穂奈美

家村 舞音
小一 6級
すつきりとした
あかるいせんで
とてもいいねい
にかけましたね。
これからも、一
まいでもおおく
れんしゅうをが
んばってね。

秦 ゆうき
小二 5級
一文字一文字、
お手本をよくみ
て、マスいっぱい
いに元氣よく書
けています。お
けいこの楽しさ
が伝わってくる
作品です。

安松 春香
小三 準2級
ペンを上手に使
い、集中して一
生けん命に書け
ています。この
調子で、段々
目指してがんば
ってね。きたい
しています。

登川千鯉子
小三 3級
お手本をよく見
てむずかしいペ
ンでいいねいに
書いています。ペ
ンをもうすこし
かるくにぎって書
くと、さらによ
くと思えます。

山口 茉優
小四 準3級
気のこもった線
で、漢字と平仮
名のバランスも
よく、伸びやか
に書けましたね。
名前までしっか
りと練習のでき
た作品です。

水崎 晃輝
小四 4級
伸びやかな線
で、どうと書け
ています。晃輝
くんの元氣が作
品からあふれて
います。これか
らの成長がとて
も楽しみです。

大石 智花
小五 三段
ペンを上手に使
い、伸びやかな
線で書けていま
す。漢字よりも
平仮名を少し小
さく書くとさら
に良くなります。
がんばってね。

百留 実和
小六 準3級
気のこもったど
つしりとした線
で落ち着きのあ
る作品です。名
前も立派です。
上位有段者に負
けない力を持っ
ています。

中島羽七乃
中学 特待生
さすが「特待生」
ですね。作品の
完成度が高く、
見ていて安心で
きます。今後は、
是非一般部へも
挑戦し、力を試
みましょう。

峰 彩陽
中学 準六段
作品の完成度の
高い、見事な作
品です。熱心な
練習の成果だと
思います。特待
生を目指して
さらに頑張っ
て下さい。期待大。

古村 青霞
一般 師範
お手本に捕らわ
れず、自己のリ
ズムで作品を無
理なく纏めた腕
は流石、師範で
すね。是非、さ
らに「上」を目指
して下さい。

大石穂奈美
一般 準五段
素直で明るい線
に魅了される作
品です。楷書作
品とは思えないほ
ど無理のないペ
ン捌きは見事
です。さらなる精進
に期待します。